



アドビシステムズ社、ADOBE COLDFUSION 9 を提供開始

Adobe Labs で COLDFUSION BUILDER Beta 2 をダウンロード公開、 COLDFUSION in the Cloud のプライベートベータ版を公開

【2009年12月10日】

Adobe Systems Incorporated (NASDAQ: ADBE) (本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社) は、10月5日から ADOBE® COLDFUSION® 9 IN THE CLOUD のプライベートベータ版の提供を開始しました。COLDFUSION 9 は、ADOBE COLDFUSION 9、ADOBE COLDFUSION BUILDER™ Beta 2 と、Amazon Web Services 環境で動作し、開発者は COLDFUSION をホステッド型サービスとして利用できます。動的な Web サイトやインターネットアプリケーションの構築を可能にする強力な開発技術である COLDFUSION 9 は、開発者の生産性を高め、複雑なエンタープライズ環境との連携が可能です。またユーザーには表現力豊かなインタラクティブ体験を提供します。COLDFUSION BUILDER Beta 2 は、COLDFUSION アプリケーションを迅速に開発するための、最新の Eclipse™ ベースの COLDFUSION 統合開発環境 (Integrated Development Environment : IDE) の次期製品です。

COLDFUSION 9 は、複雑で強力なビジネス ロジックをわずかな行数のコードにまとめることで、開発サイクルを短縮します。COLDFUSION 9 アプリケーションは、Microsoft SharePoint、Microsoft Office ファイル、Java J2EE ポートレット規格など、既存のエンタープライズインフラストラクチャ内のデータに容易にアクセスできます。COLDFUSION 9 の新機能としては、複数の COLDFUSION サーバーを 1 か所から管理する Adobe AIR® アプリケーションがあり、これによって実行時間を短縮し、作業の重複を減らすことができます。COLDFUSION 9 は、Adobe AIR によるローカルおよびリモートのデータベース同期化にも対応しており、ユーザーは、インターネットに接続されているか否かに関わらず、アプリケーションにアクセスできます。また、Hibernate によるオブジェクトリレーショナルマッピング (ORM) との高度な統合により、開発者はデータベースに依存しないアプリケーションを活用できます。

アドビシステムズ社 プラットフォーム部門担当 ゼネラルマネージャー兼バイス プレジデント であるデイビッドワドワニ (David Wadhvani) は、「COLDFUSION 9 ベータプログラムは、最新の Eclipse ベース IDE と、Adobe Flash® Platform との高度な統合が評価され、非常に大きな成功を収めています。クラウドベースの新製品の提供が開始されたことで、開発者と IT プロフェッショナルは、リッチインターネットアプリケーションの展開に際して、最高かつ最もコスト効果の高い方法を選択できるようになります」と述べています。

アドビシステムズ社は、COLDFUSION を通じ、顧客のクラウド環境への移行を 2 つの方法で支援しています。COLDFUSION 9 では、インスタンスベースのライセンスが新たに導入されており、開発者は自らの選択したクラウド環境で仮想インスタンスに COLDFUSION 9 をインストールし、COLDFUSION アプリケーションのプロトタイピング、開発、テスト、ホストを行うことができます。次に、COLDFUSION 9 の Amazon Machine Image は現在、

プライベートベータ版が提供されています。Amazon Machine Image は、Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) と Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) の技術を使用することで、拡張性と信頼性に優れたオンデマンドの技術リソースを実現します。詳細については、www.adobe.com/go/cf_cloud をご覧ください。

Amazon Web Services のデベロッパーリレーション/ビジネスデベロップメント担当ゼネラルマネージャーのスティーブ ラブシン (Steve Rabuchin) 氏は、「アドビ システムズ社との関係を継続することで、増加の一途をたどる同社の開発者グループを対象に、エンタープライズ クラウド環境を拡大できることを嬉しく思います。アドビ システムズ社は、同社の主力のソリューションである COLDFUSION 9 を Amazon Web Services を通じ開発者コミュニティが利用できるようにすることで、世界中のエンタープライズ開発者を継続的に支援していくという姿勢を示しています」と述べています。

COLDFUSION は、ツール、フレームワーク、クライアント、サーバーを統合した包括的なシステムとして、さまざまな OS や機器で同じように動作する Web アプリケーション、コンテンツ、動画の開発を可能にする Adobe Flash Platform とシームレスに連携します。これにより、開発者と IT プロフェSSIONAL にとっては、表現力豊かなユーザーインターフェースを作成しつつ、既存の技術間での連携を可能にするツールがより多く用意されます。

COLDFUSION BUILDER は、アプリケーションのコーディング、サーバーの管理、およびプロジェクトの展開を行うための、統一され、カスタマイズ可能で拡張性にも優れた開発環境を実現する開発ツールです。Beta 2 は、強力な機能セットと開発環境を実現します。さらに、COLDFUSION BUILDER と Adobe Flash BUILDER は Eclipse ベースであるため、機能の高度な統合とワークフローの強化により、クライアントとサーバーコードの生成が可能です。開発者は、COLDFUSION のサーバーサイドロジックによって、表現力豊かなインターフェイスとアプリケーションを容易に作成できます。

COLDFUSION BUILDER Beta 2 は、<http://labs.adobe.com/technologies/coldfusionbuilder/> からダウンロードすることができます。

Gartner のシニアリサーチアナリストであるエリック ニップ (Eric Knipp) 氏は、「クロスプラットフォームの展開や幅広い技術とサービスの統合など、これまで Web アプリケーション開発ツールの差別化をもたらしてきた機能は、いまや一般的なものとなっています。その結果、堅牢な Web アプリケーションを構築するコスト効果の高い方法を模索する企業にとっては、Web アプリケーションの開発ツールと技術により、開発者の生産性を向上することが新たに重要な要素となってきました。さらに、クラウドコンピューティングに対応した Web アプリケーションの開発技術によって、企業はホスト型サービスと自社のアプリケーションを統合させることで、コストを管理し、費用対効果 (ROI) の向上を実現できる可能性があります」と述べています。

価格と入手方法について

COLDFUSION 9 には、3 つの製品タイプが用意されています。COLDFUSION 9 Enterprise Edition は、1 または複数のサーバー、または既存の J2EE アプリケーションサーバーを導入した環境で複数の Web サイトと Web アプリケーションを提供するための高性能ソリューションで、2 CPU あたり 7,499 ドルで提供されます。COLDFUSION 9 Standard は、管理の容易な単一アプリケーション向けの構成になっていて、中堅・中小企業に最適です。価格は

2 CPU あたり 1,299 ドルです。COLDFUSION 9 Developer Edition は、開発用途専用のフル機能サーバーで、無償で提供されます。低コストのアップグレード価格は、COLDFUSION 7 および COLDFUSION 8 の正規ライセンスの保有者に提供され、価格は 649 ドルからです。COLDFUSION 9 は、アドビストア、アドビ システムズ社から直接、またはアドビ システムズ社のパートナー/リセラーネットワークを通じて、購入可能です。詳細については、<http://www.adobe.com/jp/products/coldfusion/> をご覧ください。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーの、アイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイトに掲載されています。